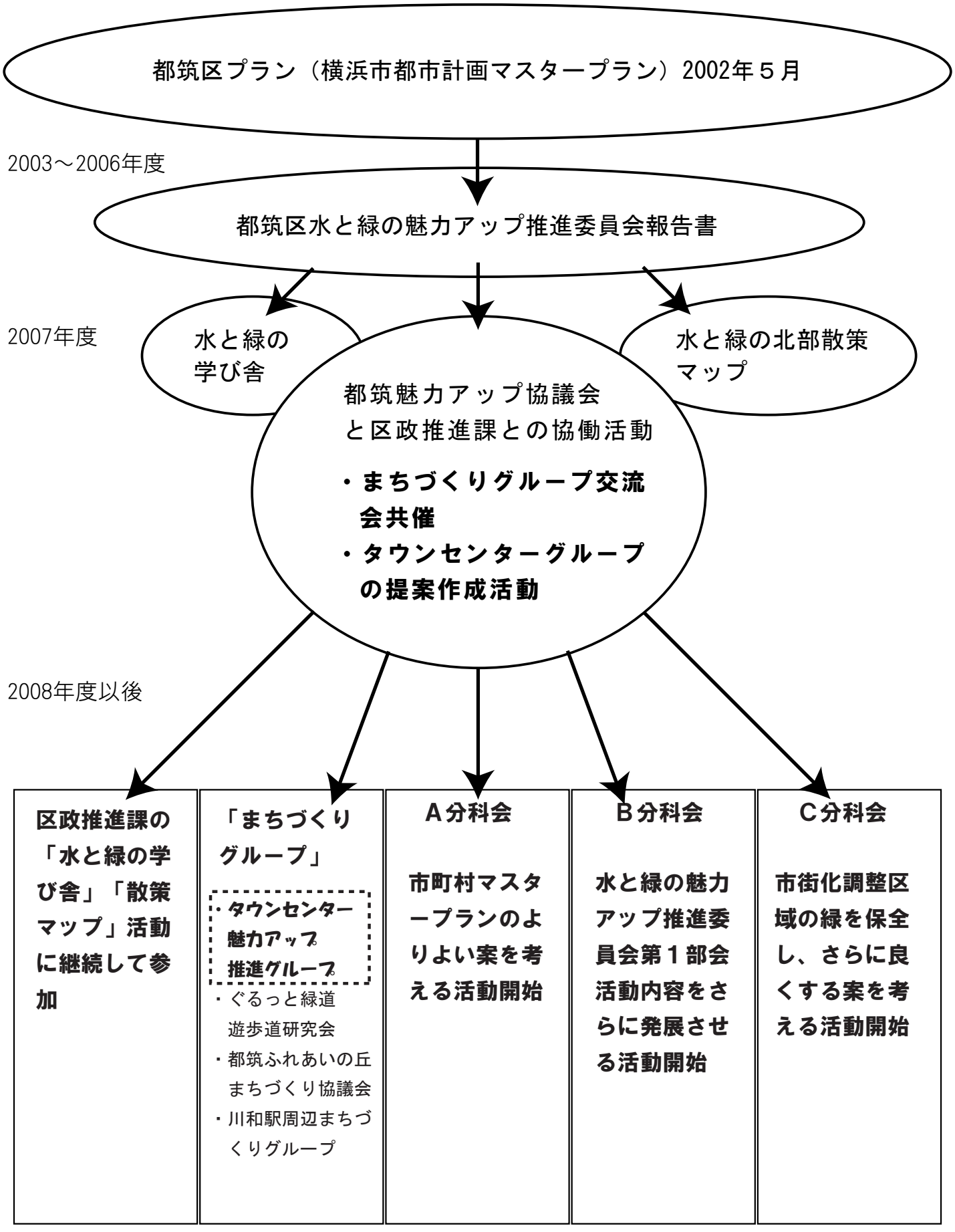
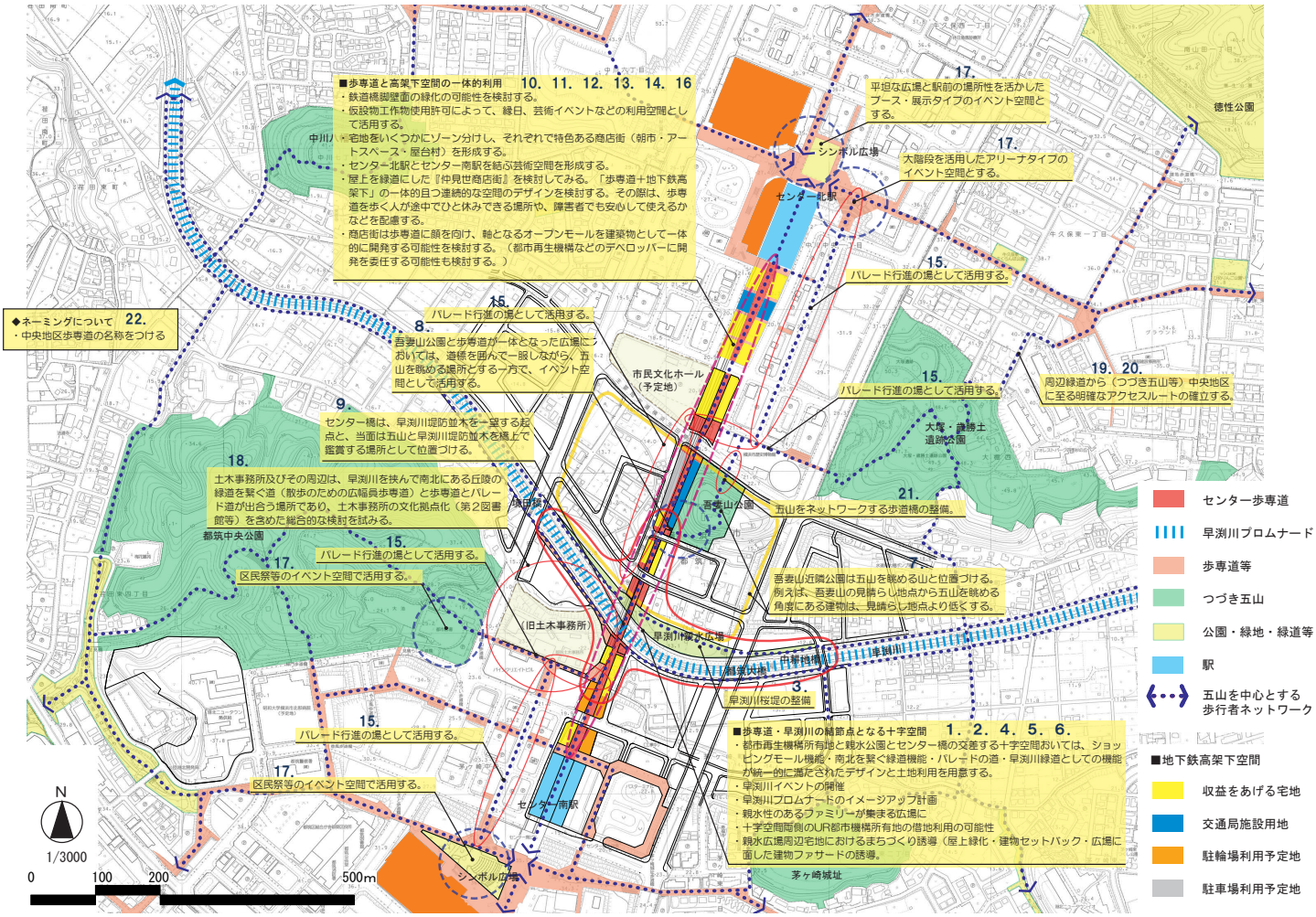
タウンセンター魅力アップ推進グループ設立・活動開始のプロセス



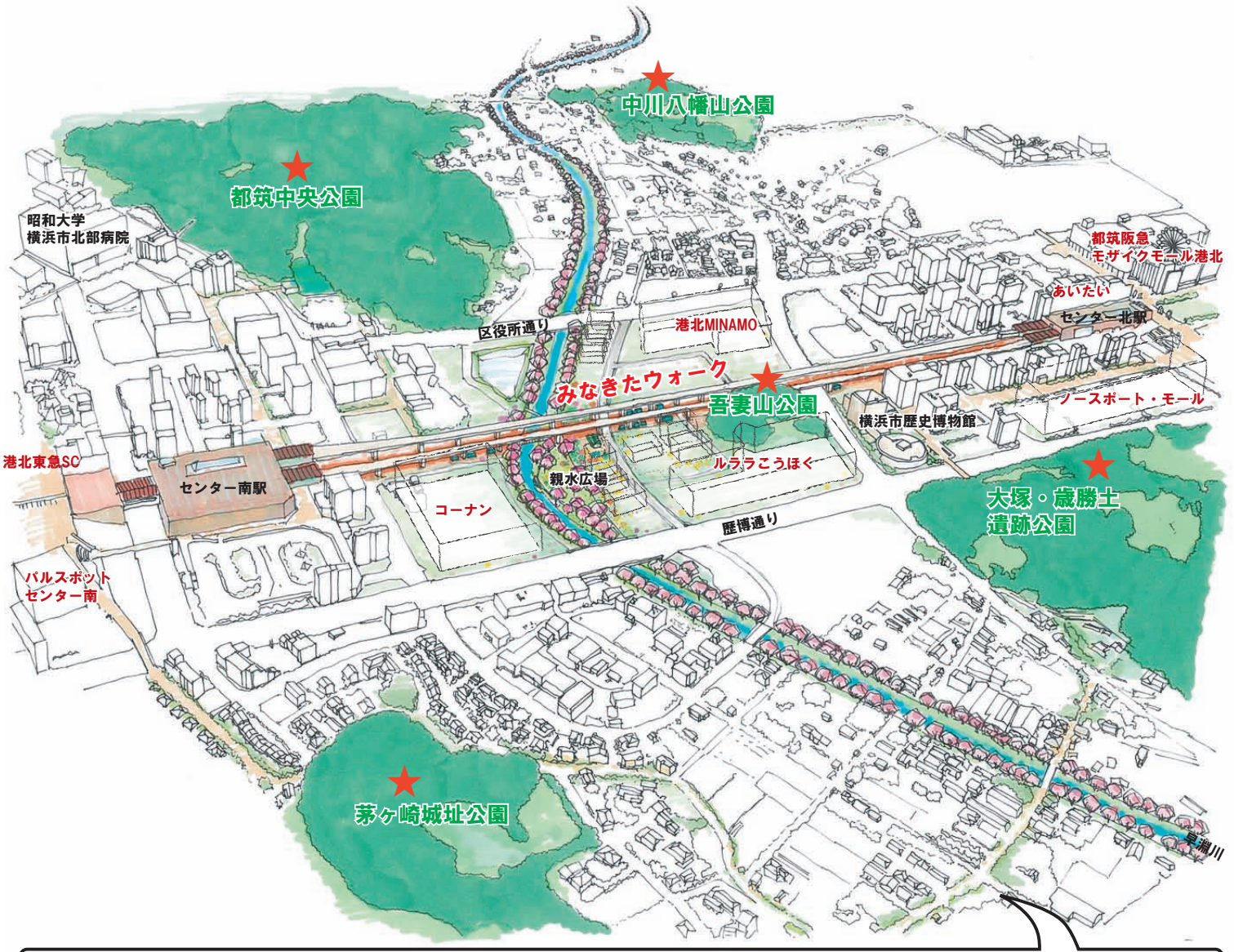
タウンセンターの魅力向上に向けた提案



	主な提案項目	内容	分類	今後の展望	その他課題等
早渕川の魅力アップ	早渕川の魅力づくり	1．十字空間と一体となったイベントの開催。	早渕川／県管理事項	みなきたウォークハマロードサポーターと早渕川親水広場愛護会などで親水広場オープン時にイベント開催の検討	
		2．早渕川プロムナードのイメージアップ計画。		第３部会で平成16年度早渕川周辺整備基本計画策定 早渕川親水広場愛護会（平成18年11月26日設立）が主体となって検討	地域まちづくりグループ活動において親水広場愛護会等既存団体との連携
		3．早渕川桜堤の整備		親水広場レストテラスの一部に実施済み	
	早渕川親水広場の魅力づくり	4．ファミリーが集まれる親水性のある広場に。		親水広場のPR 付帯設備等は早渕川親水広場愛護会と連携して、県治水事務所へ要望	整備後の維持管理が必要
みなきたウォークの魅力アップ	早渕川～親水広場十字空間の魅力づくり	5．十字空間周辺宅地における“環境に配慮した土地活用”のモデル事業化	地権者調整事項	タウンセンター魅力アップ推進グループによるルールづくりの検討	地権者や今後進出してくる事業者との合意形成が必要
		6．親水広場周辺宅地におけるまちづくり誘導（屋上緑化・建物セットバック・広場に面した建築等）			地権者や今後進出してくる事業者との合意形成が必要
	五山眺望ポイントの活用	7．吾妻山の見晴らし地点から五山を眺める角度にある建物は、見晴らし地点より低くする規制・誘導			
		8．吾妻山公園と歩専道が一体となった広場においては、道標を囲んで一服しながら、五山を眺められる場所とする一方で、イベント空間として活用。	歩行者ネット		土木事務所・交通局との調整
		9．桜並木と五山を橋上で鑑賞する場所としてのセンター橋の位置づけ		北部散策マップ等でＰＲしていく	
	安全な歩行者環境の創出	10．みなきたウォークの安全な歩行者環境づくり		**地域まちづくりグループにより、歩行者の安全性を高める施設の設置提案を地元で調整し、警察、土木事務所と調整する。**	警察・土木事務所との調整
文化・芸術・市民活動・活性化	タウンセンター祭等による中央地区（みなきたウォークや早渕川十字空間など）の活用に向けた環境整備	11．子育て地蔵緑日やパレード行進等に活用できるみなきたウォークの環境改善	イベント環境	**地域まちづくりグループにより、中央地区各種イベント（パレード行進・子育て地蔵イベント・緑日・お祭り広場等）の企画の考案をおこなうとともに、こうしたイベントに対応した道路環境の課題整理をおこなう。** **地域まちづくりグループにより、各種イベントの開催の際には必要に応じて各種団体等と調整する。**（大学サークル・センター北商業振興会・センター南商業地区振興会・センター北広場公園愛護会・センター南広場公園愛護会・みなきたウォークハマロードサポーター・早渕川親水広場愛護会等）	南・北タウンセンター地区と中央地区が一体となった「（仮称）タウンセンター祭り」の実施
	魅力ある歩行者専用道路沿い商店街の形成	12．歩行者空間に顔を見せた沿道商店街の形成	交通局調整事項	**平成19年度以降の高架下土地活用事業の検討状況に応じて、地域まちづくりグループによる地元提案の調整および交通局との継続的な意見交換**	交通局への提案の際には、地域まちづくりグループが主体となって、地権者と調整し「地元」としての意見を統一することが必要
		13．早渕川を起点とした商店街のゾーン分け（朝市・アートスペース・オープンカフェ・屋台村等）			
		14．屋上緑化にした仲見世商店街や屋上利用のできる商店街の形成			
	高架下空間活用による歩行者専用道路の魅力づくり	15．北と南を結ぶ芸術空間づくり			
		16．変電所・鉄道橋脚壁面の緑化の可能性			
	既存の市民活動拠点の担保および新たな文化拠点等の創出	17．“青少年の居場所”スペースの確保	他	都筑区地域振興課において検討	現在、市歴史博物館駐車場にて暫定的に利用されている。
		18．土木事務所所在地を文化拠点としていくための総合的な検討		**地域まちづくりグループと地権者によって中央地区に相応しい土地利用を検討し、今後進出してくる事業者等に対し要望していく**	
周辺地区との関係強化	中央地区内の歩行者動線整備	19．中央地区周辺緑道から中央地区に至る明確なアクセスルート（散策ルート）の確立	歩行者	**北部ルートと南部ルートを結ぶ中央地区アクセスルートと眺望点の設定およびマップの作成**	平成19年度に散策マップ作成予定
		20．つづき五山が眺められる眺望点の確立			
		21．吾妻山～歴史博物館間の歩行者デッキ整備の可能性	他		整備費用

既に関係者との調整が始まっている項目

都筑区のタウンセンター環境



タウンセンターは、港北ニュータウンの中心に位置し、都筑区全体に張り巡らされた歩行者ネットワークを束ねる広域センターです。真ん中にはセンター北駅とセンター南駅を結ぶ“みなきたウォーク”が通っており、その周りには色々な施設が建ち始めています。また、通称『五山』（図上★印）と呼ばれる歴史的資源や樹林地などを保存した公園緑地が点在します。

□みなきたウォークのエリア分け

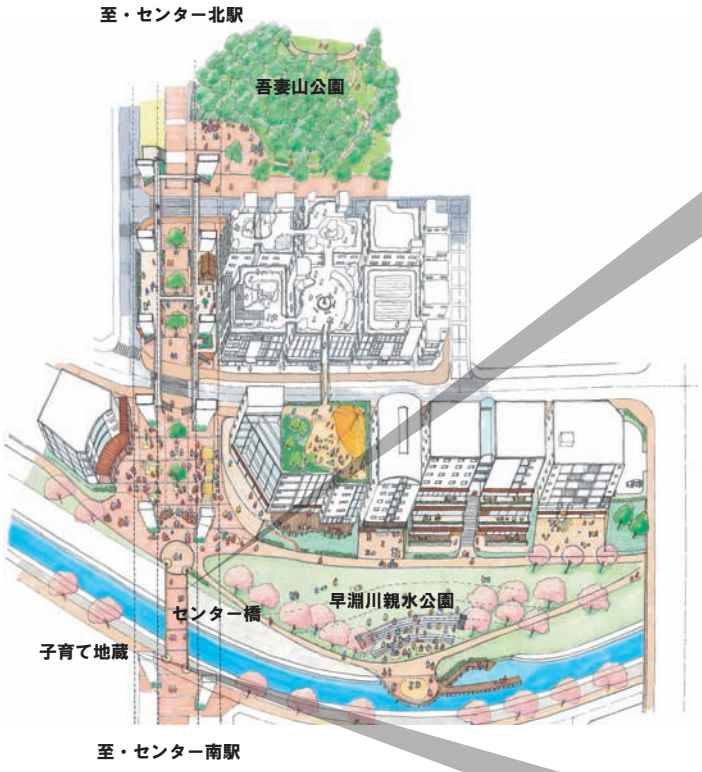
みなきたウォーク沿道商店街の形成

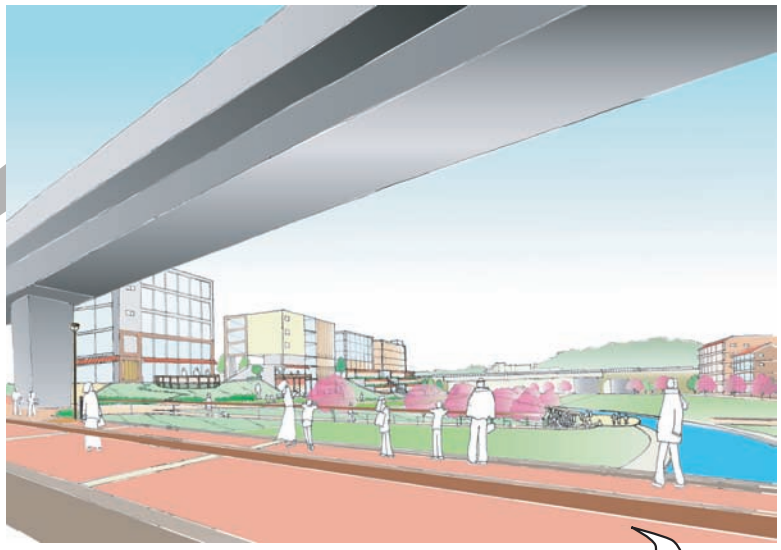
センター北駅前の歩道沿いは、ウィンドウショッピングなどが楽しめる賑やかなショップストリート。歩く人だけでなく地下鉄の車窓からも商品が見えるよ。駅降りてブラブラしながら帰り道。気に入ったものがあったら買おうかな…。

屋上利用のできるみなきたウォーク商店街の形成

みなきたウォークのちょうど中間付近では、道路を横断するデッキがあり、手すりに緑化を施した自然と調和する休憩スペースがあります。近くには飲み物を出してくれるお店もあり、散歩の途中に屋外でゆったりとくつろいでます。

みなきたウォークの様々な魅力づくり





みなきたウォークと親水広場が交わるセンター橋からは五山が良く見える。いつまでもこの風景はとっておきたいね。

24日は、みなきたウォークの脇にあるお地蔵様の前で縁日だ。このお地蔵様は別名“子育て地蔵”と言われていて、昔はお宮参りや七五三の時に家族で参詣する慣わしがあったそうだ。うちの子供にもご加護がありますように…

子育て地蔵縁日

今週から恒例の「みなきたアートフェスタ」が始まったよ。全長800m直線景観ならではのダイナミックな芸術作品が並んでいて、歩いて周るのが楽しみ。夜のライトアップのイベントでは、上を走る地下鉄もこの時期だけ特別に電灯と速度を落として走るので地下鉄の車内からも幻想的な光のアートを味わえるんだよね！

みなきた夜のライトアップ

みなきたアートイベント

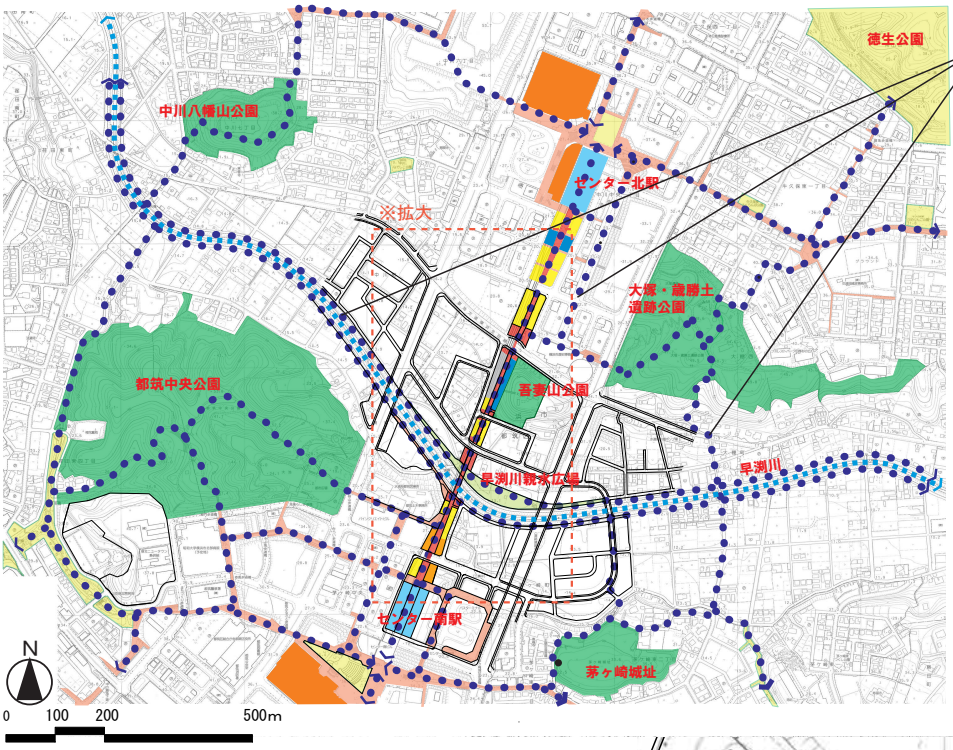
みなきたウォークの屋台村

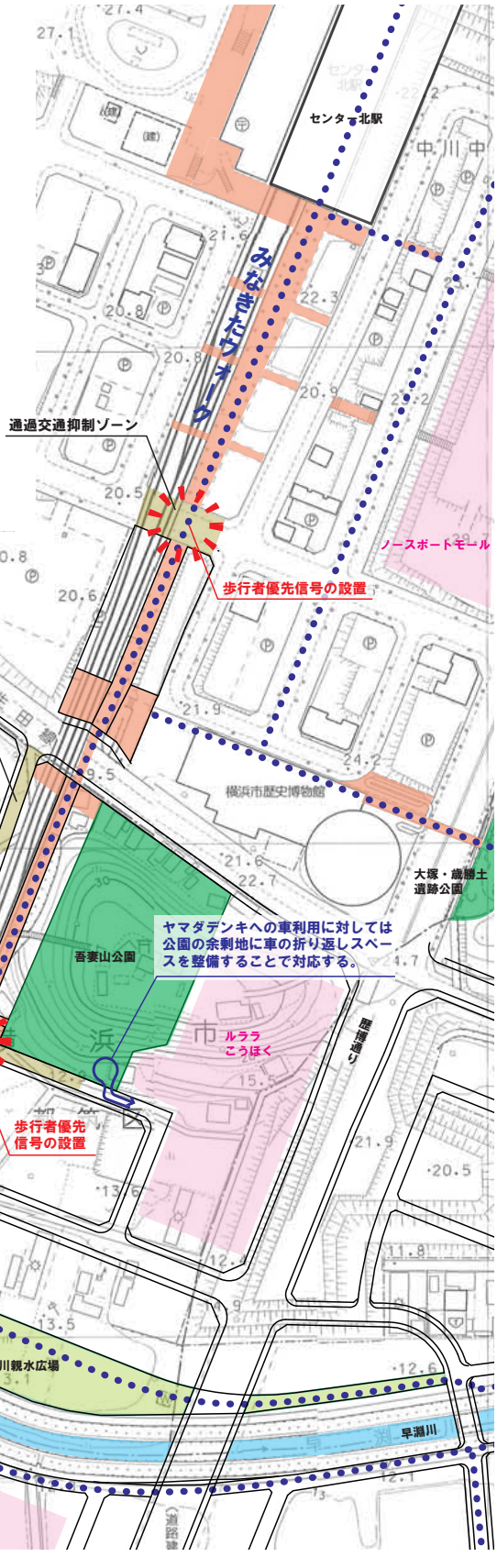
センター南駅前の歩道沿いは、帰り道にちょっと立ち寄れる屋台村だ。地下鉄の高架下ってのがまた風情だ。「対岸の、桜を望む屋台村、川風受けて、進むサケかな」…と。

みなきたウォークを安全な歩行者道路に！！

南北センター地区を囲む「つづき五山」と「みなきたウォークで形成される緑の広域センター構想図

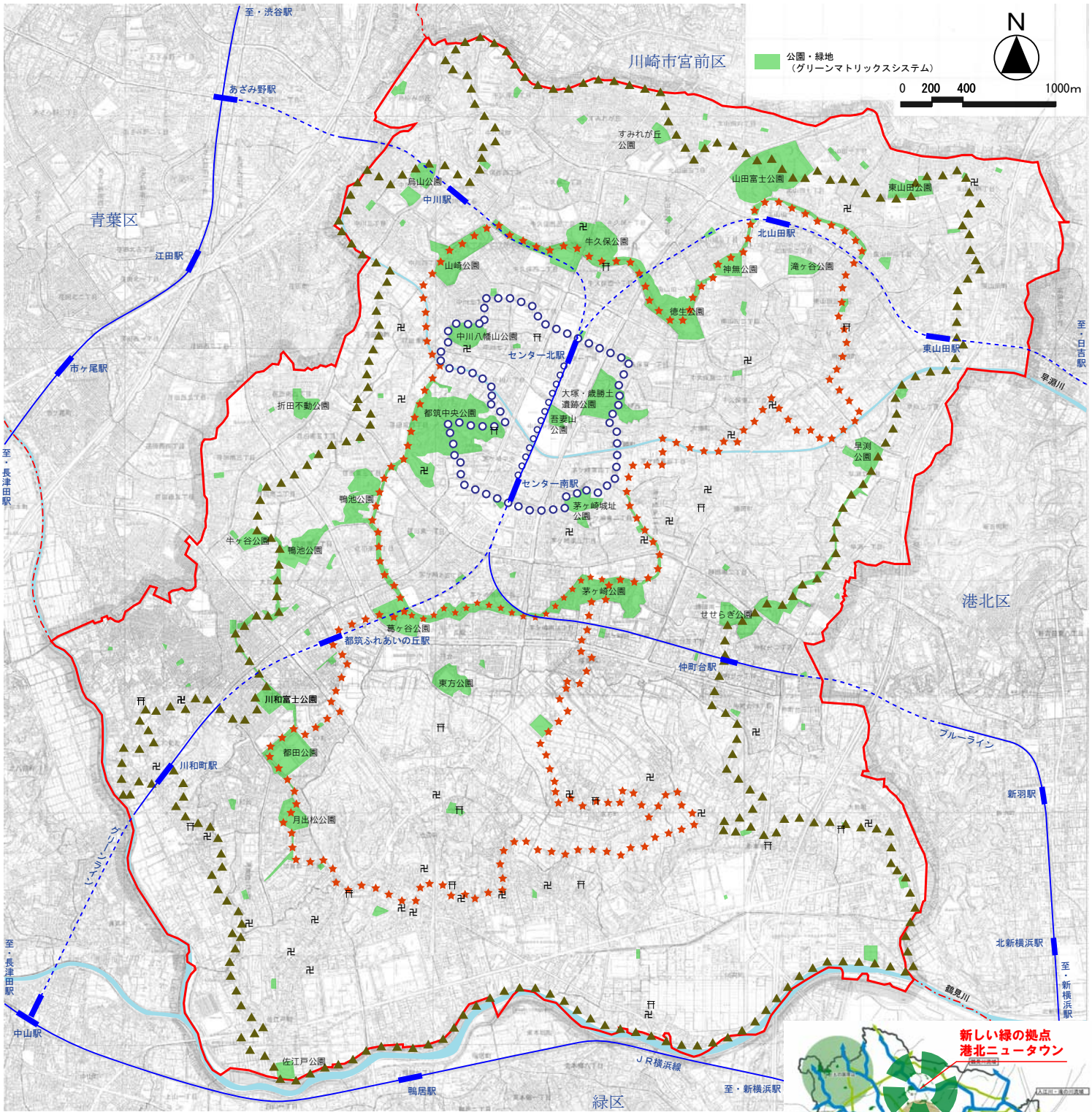
「つづき五山」への眺望点などにも配慮した歩行者ネットワークの形成





みなきたウォークは、真っ直ぐに歩くことで気分爽快を味わう道です。現状は車優先の道路で何回もストップし、ガードレールで遮られ、気分爽快を否定されています。車優先をやめて、歩行者優先の考えで解決策を検討すべきではないでしょうか。

散策ルートを軸として「横浜市水と緑の基本計画 市民政策拠点都市」に都筑区を位置づける提案図



▲▲▲▲ **約31km**
都筑外環緑道帯健脚ハイキングコース
（鶴見川と都筑区の丘を歩く）

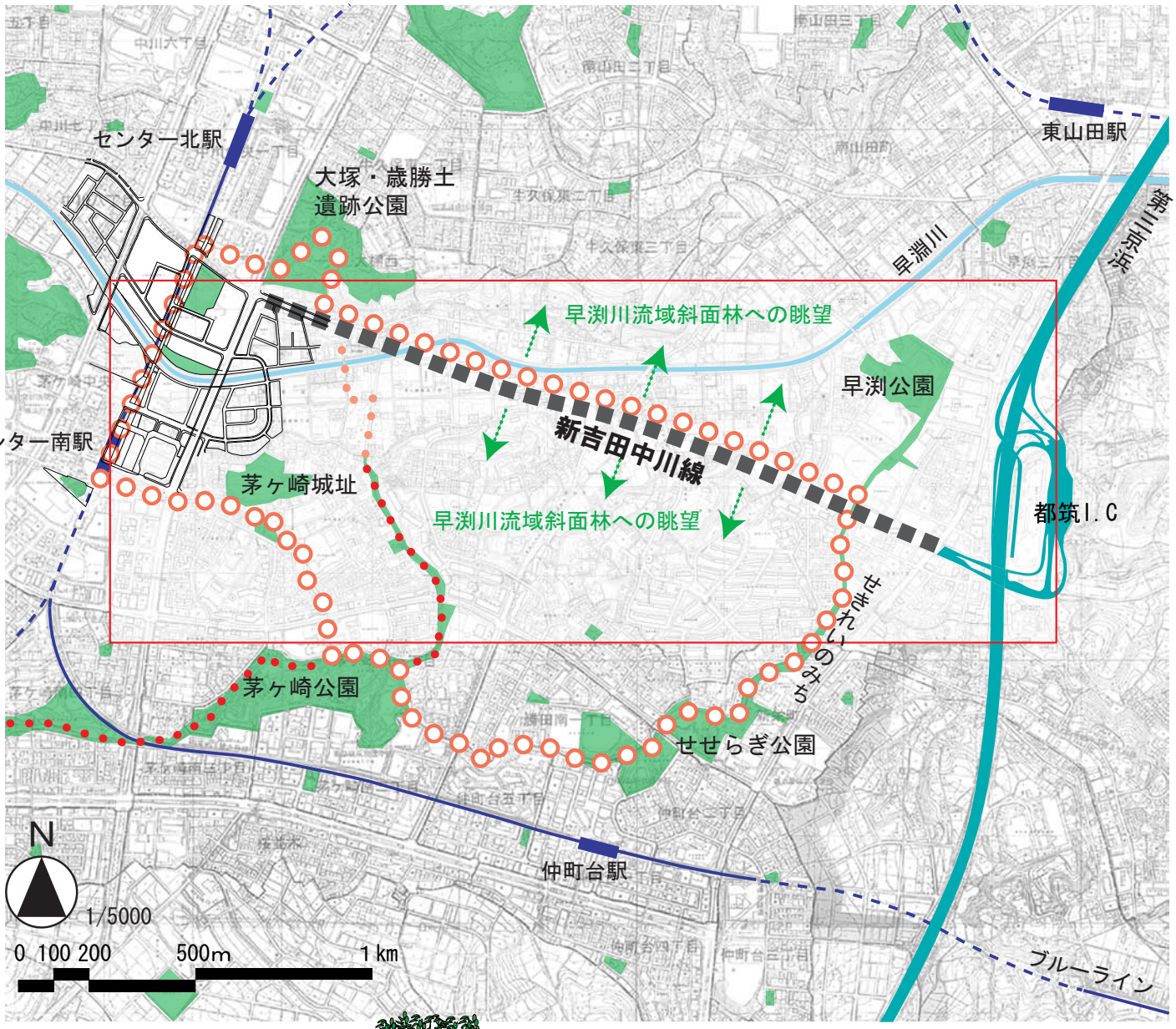
★★★★ **約20km＋約1.5km**
都筑中核緑道帯ハイキングコース
（ふるさとの寺と見晴らしの丘を歩く）

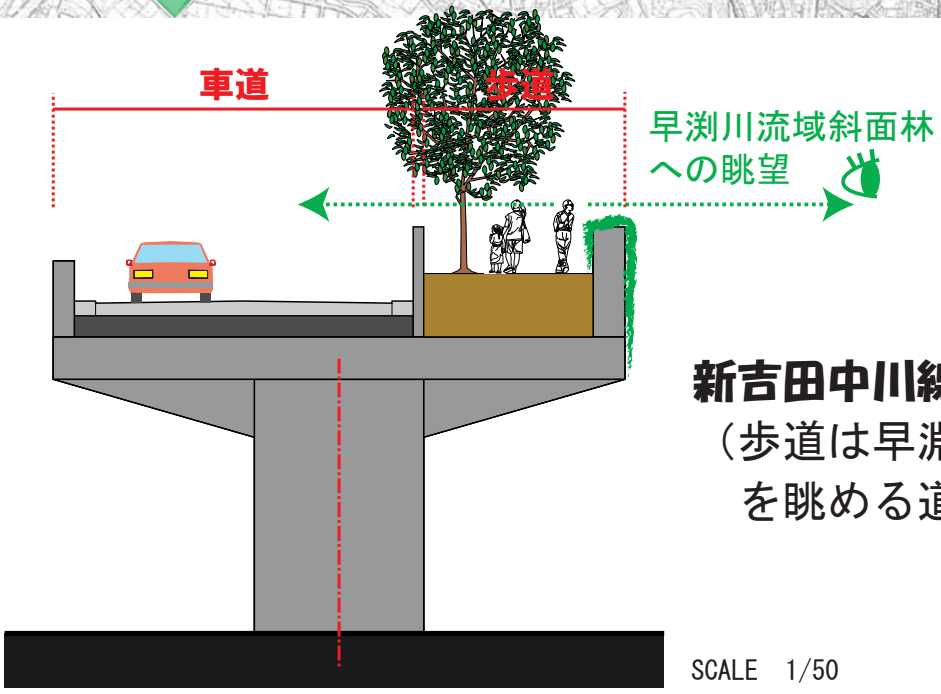
○○○○○ **約6km＋約1.2km**
都筑区のセンターを巡るつづき五山ルート
（横浜北部副都心を味わう散歩道）

※都筑区北部・南部水と緑の散策ルート（別図）

横浜市水と緑の基本計画
図11　全市における水と緑の回廊像

都筑ＩＣ～タウンセンター地区を結ぶ新吉田中川線の歩道で『せきれいのみち』環状緑道帯を創り出そう！





新吉田中川線の横断面モデル
（歩道は早淵川流域斜面樹林を眺める道となる）

SCALE　1/50